

# 令和2年度学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 東京都立杉並工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 総務部主任＝事務局長、教務部員1名 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画課（室）長、教務主任、生活指導主幹、進路指導主幹、総務部主幹 計7名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
PTA会長、同窓会長、地元企業、近隣施設長、近隣中学校長（2名）、地域代表、杉並区教員センター、荻窪警察署、荻窪消防署 計10名

## 2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～4回）の開催日時、出席者、内容、その他  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙面開催  
第1回 令和2年5月28日（木曜）内部委員10名、協議委員7名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題  
本校の現状と課題等説明、意見交換  
第2回 令和2年11月26日（木曜）内部委員10名、協議委員7名  
授業公開、これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議  
第3回 令和3年3月25日（木曜）内部委員10名、協議委員7名  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙面開催  
これまでの教育活動に関する報告（各分掌からの報告）  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
第1回 令和2年5月28日（木曜）内部委員2名、協議委員2名  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙面開催  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討  
第2回 令和2年11月26日（木曜）内部委員2名、協議委員2名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討  
第3回 令和3年3月25日（木曜）内部委員2名、協議委員2名  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙面開催  
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理  
評価報告書（原案）の検討

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模  
・11月 全校生徒 対象：363人 回収：360人 回収率：99.2%  
・12月 保護者全員 対象：363人 回収：228人 回収率：62.8%  
・12月 地域・住民 対象：20人 回収：15人 回収率：75.0%  
・12月 教職員 対象：50人 回収：50人 回収率：100.0%
- (3) 主な評価項目  
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、窓口対応
- (4) 評価結果の概要  
・生徒はおおむね本校の教員の授業について満足しているが、教科・科目によっては必ずしも満足していない。  
・生活指導は、保護者から90%以上の支持率を得ている。生徒からも80%以上生活指導の決まりを理解し、進んで守ろうとしている。  
・教職員の働き方改革について、取組んでいるが、過剰な時間外労働が常態化しているのも事実である。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）  
・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。また、観点別教科を取り入れるための準備が必要である。  
・入試倍率の向上にむけて、職員が一丸となって魅力ある学校の実現に向けて取組む必要がある。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果  
・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施、充実が必要であると認識できた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題  
・専門性の高い教育と志を持った若者の育成を期待されていることが分かった。

- ・近隣の住民は、学校の教育機能をより一層活用したいと望んでいることが分かった。
  - ・地域の人材活用を一層推進するとともに公開講座等の拡大・充実が必要である。
  - ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、もっと情報提供すべきである。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）
- (1) 学校運営
    - ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
    - ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
    - ・学期ごとに校内研修会を実施する。
  - (2) 学習指導
    - ・放課後の補習授業（「杉工寺子屋」）や朝講習の一層の充実を図る。
  - (3) 生活指導
    - ・身だしなみ指導の充実、挨拶励行を継続していく。
  - (4) 進路指導
    - ・生徒の一人一人に対応した進路実現を図っている。粘り強く指導をしていく。
  - (5) 健康・安全
    - ・自転車利用について安全教育の実施。コロナ禍における感染症拡大防止の対策の徹底。
- 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合
- (1) 協議委員人数 7人
  - (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	2					

- 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
- 【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回
- 【成果】 特になし
- 8 その他
- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
  - ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。